

キャラクター名 セスト	プレイヤー名
----------------	--------

種族	コボルド	種族特徴	種の限界/軽視/小さな匠/弱点(魔法+2)		
生まれ	妖精使い	性別	男	年齢	6
冒険者Lv	5	経歴	人族の文化を崇拝している。		
経験点	17500		人族を研究している。		
			人族に弱みを握られている。		

技	5	器用度	2	3	1	11	1	技能	Lv.	技能	Lv.
		敏捷度	2	6	1	14	2		ソーサラー	4	アルケミスト
体	4	筋力	4	4		12	2	コンジャラー	4	ウォーリーダー	2
		生命力	6	7	1	18	3	プリースト/シーン	5		
心	9	知力	10	14	1	34 + 1	5	フェアリーティマー	5		
		精神力	10	12	2	33	5	マジテック	5		
								バード	5		

戦闘特技	
魔法拡大/数	226 p
魔法拡大/距離	226 p
マリオネット	1B38 p
	p
	p
	p
	p
	p
	p
	p
	p

言語	会話	読文
交易共通語	○	○
ドラゴン語	○	
ドレイク語	○	
汎用蛮族語	○	○
魔神語	○	
魔動機文明語	○	○
魔法文明語	○	○
妖精語	○	
妖魔語	○	
ザルツ地方語	○	○

練技/呪歌/騎芸/賦術	
モラル	
レジスタンス	
ビビッド	
アトリビュート	
パラライズミスト	
パークメール	
ポイズンニードル	
ヴォーパルウェポン	
イニシアティブブースト	
怒涛の攻陣Ⅰ	
怒涛の攻陣Ⅱ：旋風	

技能	基本 レベル	基本 命中力	基本 回避力	基本追加 ダメージ
ファイター	0			
グラップラー	0			
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾		必要 ランク 筋力 回避力 防護点		
鎧	ソフトレザー		7	3
盾				
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)				
回避技能		合計値	0	3

武器	用法	必要 筋力	命中 修正	命中力	C値	追加 ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ジャベリン(戦旗槍,発動体)	1H投	5	-1	2d+ -1	10	0	10										
戦旗槍 100名誉点使用 攻撃系銃砲IIランクから使用 魔法の発動体																	
カードシューター				2d+ 0		0											
射程:0mの銃術の射程+10m 7カミ-キト兼用 ホルスター無し																	
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													

制限移動	通常移動	全力移動
3 m	14 m	42 m

回避	防護点
2d+ 0	3

HP
35

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
真語魔法	4	9	魔動機術	5	10
操霊魔法	4	9			
深智魔法	4	9			
神聖魔法	5	10			
妖精魔法	5	10			

魔物知識/弱点	先制力
2d+ 0/X	2d+ 4

生命抵抗	精神抵抗
2d+ 8	2d+ 11

MP
104

装備品	説明
頭 Fマジスフィア(大)	
耳 聖印(シーン)	
顔 華美なる宝石飾り	
首 ポーションインジェクター	in熱狂の酒
背中 ウェポンホルダー改	
右手 信念のリング	
腰 マジスフィア(中)	opIフクトウエホソ
足 幸運の羽	「形状：突破」「形状：貫通」の巻き込まれ1/3
その他ポーションインジェクター	inスカーレットポーション

装備品	説明
左手 知性の指輪	

その他メモ	自動失敗 チェック
セストはもともと、蛮族側のコボルドであった。しかし、とある駆け出しの冒険者PTが自分をこき使っていた主人を倒してくれた。セストは魔法の心得があった。駆け出し冒険者PTに頼み込んでセストは入れてもらえることになった。	□□□□⑤
初めは楽しかった。人族の仲間とともに一生懸命冒険した。だが冒険を重ねていくうちに、セストは仲間の成長に追いつけなくなった。追いつけなくなったセストに人族の仲間は親切心からPTから外れるように言った。セストは悔しかったがPTを抜けることにした。以来セストは決まったPTには入らず。様々なPTを転々とした。自分がコボルドであることを呪ったこともあった。だがあるとき風の噂に、コボルドでも種の限界を突破できる魔剣の存在を聞いた。以来、セストはその魔剣を求めて旅を続けている。	□□□□⑩
セストは人に奉仕することが好きだ。人の役に立つことが好きだ。だから役立たずといわれることを何よりも恐れている。コボルドである自分が仲間の足を引っ張ることを恐がっている。だから工夫する。時には最初に支援だけして戦場から離脱することもある。	□□□□⑮
それでも自分を救ってくれた冒険者として生きていきたい。それがセストの願いである。	□□□□⑳
	□□□□㉑
	□□□□㉒
	□□□□㉓
	□□□□㉔
	□□□□㉕
一人称：自分	

